

2015年度は、
復刊10周年
year!

児童文学の冒険

飛ぶ教室

年4回(1・4・7・10月25日)発行

「飛ぶ教室」は、石森延男、今江祥智、尾崎秀樹、河合隼雄、栗原一登、阪田寛夫各氏が編集委員となり、子どもの本と子どもの文化を掘り下げる総合誌をめざして、1981年に発刊した児童文学雑誌です。

作家の個性があふれる童話や短編、絵本の書きおろし作品のほか、作家や作品の魅力に迫るインタビューや座談会など、読みごたえある企画満載です。

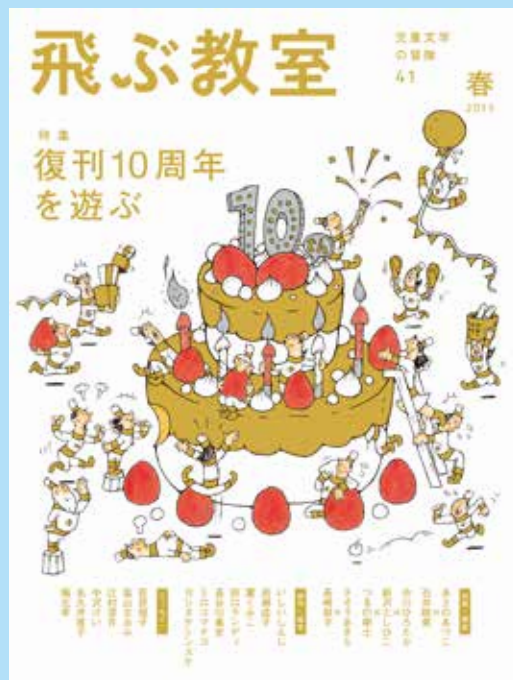
■第41号(2015春)
特集「復刊10周年を遊ぶ」

定価：本体1,000円＋税
ISBN978-4-89528-896-5

■第42号(2015夏)
特集「五味太郎編集号」

定価：本体1,000円＋税
ISBN978-4-89528-897-2

●バックナンバーの詳しい内容は、光村図書ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.mitsumura-tosho.co.jp>
●ご注文は、お近くの書店、またはオンライン書店でどうぞ。



2015年の春、「飛ぶ教室」復刊10周年を迎えました。41号は、作家・著名人70名が集う“復刊10周年記念号”です。「さんぱつやきょうこさん」ポストカード付き！



常に魅力的な絵本を世に出し続ける絵本作家・五味太郎。そんな五味さんが、「飛ぶ教室」の編集長になりました。五味編集長による極上の“遊び”の42号です。

広報部便り

特集「評論を読み、自分の考えをもつ」はいかがでしたか。今回、宗我部先生の授業を取材させていただきましたが、時折、美術の先生が授業を見に来て、話し合いの場面で机間指導をされていたのが印象的でした。生徒たちが「最後の晚餐」の魅力について話し合っているときに助言をしたり、生徒からの絵に対しての質問に答えたり。生徒たちは、美術の先生とのやり取りからも、絵の見方を深め、自分の考えをまとめていったようです。教科の枠を超え、先生方が自然に協力し合っている姿が心に残りました。

次号は2016年1月中旬発行予定です。どうぞお楽しみに。

平成28年度「言語教育振興財団」研究助成金一般公募のお知らせ

一般財団法人「言語教育振興財団」では、小・中・高等学校、大学、教育研究団体等を対象とし、今後の情報化・国際化の進展を踏まえ、言語教育（国語教育・外国語教育等）の充実・発展を図るために、理論と実践の分野について優れた研究開発を行う団体または個人に対して助成します。

助成内容	①言語教育の内容・方法に関するもの（教育内容・方法部門） ②言語教育教材の質的向上に関するもの（教材部門） ③教育機器を利用した言語教育の在り方に関するもの（教育機器部門）
研究期間	平成28年4月～29年3月（原則1年間）
応募資格	言語教育（国語、英語、日本語等）に関して研究開発を行う教員及び教育開発を行う小・中・高等学校・大学・教育研究団体（学校の学年・教科単位を含む）
助成件数及び金額	助成件数は50件まで。 助成金額は1件につき20万～40万円 （団体の場合は40万円まで、個人の場合は30万円まで）
応募方法・締め切り	・研究開発活動についての企画書または実施した実践報告書等の参考書類を添えて、別に定める「助成金交付申請書」を、平成27年12月22日（火）必着で、当財団事務局に郵送。 ・「助成金交付申請書」を希望される方は、返信用封筒（82円切手添付）を同封の上、当財団事務局までお申し込みください。 ・この応募要項については、都道府県教育委員会等の推薦の場合も同様に扱います。
決定・発表	当財団「選考委員会」にて選考を行い、選考結果は平成28年2月末までに文書にて通知します。平成28年3月末に銀行振り込みで交付します。
問い合わせ先	一般財団法人言語教育振興財団 事務局 〒141-0021 東京都品川区上大崎2-19-9 TEL 03-3493-7340 FAX 03-3493-2174 E-mail:gengo-k@star.ocn.ne.jp